

平成31年度 北海道大学大学院

文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<ul style="list-style-type: none">■ 一般入試■ 外国人留学生特別入試□ 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<ul style="list-style-type: none">■ 専門試験（ 地域科学 ）□ 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1：本設問においては、地域社会学分野、社会生態学分野、人文地理学分野の3分野から各々小問が出題されており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2：本設問は、社会生態学、保全生態学、環境社会学、地域社会学、人文地理学、地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、さらに指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

平成31年度
北海道大学大学院文學院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 地域科学 全1枚

この試験では、試験問題1枚、解答用紙4枚を配布する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つ選択して解答せよ。

1. GISを用いて津波避難に関する研究を行う場合に、どのような地理空間情報を収集して、どのようなモデルを作成することが適当か論じよ。
2. 生物多様性が維持される中での自然撓乱の意義を説明し、人為的撓乱はどのように管理されるべきか論述せよ。
3. 地域の環境保全は、地域の社会構造を抜きには論じることができない。地域の環境保全政策と社会構造との関係について、必要に応じて例を挙げながら、論述せよ。
4. 日本の生物多様性地域戦略の現状と課題について、特に生態系サービスの利用と地域社会の利益という観点から整理して論述せよ。
5. 海外の農村において農業地理学のフィールドワークを実施する際には、どのような視点と方法が有効であるか、具体的な例を挙げつつ論述せよ。
6. 公害や環境破壊がもたらす被害を社会的に把握するときに、どのような視点が重要になってくるか、思いつく限り多くの点を列挙し、論じよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 中間団体（中間集団） | 9. 中間捕獲者の解放 mesopredator release |
| 2. 包括適応度 inclusive fitness | 10. 農産物のブランド化 |
| 3. 都市の同心円的发展 | 11. 生態的地位 niche |
| 4. 生物多様性国家戦略 | 12. 内発的发展 |
| 5. 地震による液状化 | 13. 地誌学 |
| 6. ボトルネック効果 population bottleneck | 14. 聞き書き |
| 7. 質的データ分析 | 15. モータリゼーション |
| 8. エスノグラフィー | |